

## 町田会長 厳しき増す国際環境

## 多様な人生模索が大切

同窓会の平成26年度入会式が2月28日、母校大体育館で行われた。入会式には卒業式を翌日に控えた新入会員273人全員が出席した。男子は黒の学生服、女子は紺色の制服に身を包み威儀を正して式典に臨んだ。執行部役員をはじめとする同窓会員と教職員あわせておよそ60人が見守る中、歓迎の挨拶に立った町田睿会長は新入会員たちに次のように語りかけた。

「ご卒業、そして同窓会へのご入会おめでとう。戦後70年、日本は敗戦から立ち直り、世界第2の経済大国に昇りつめたが、1991年、ソ連の崩壊により東西冷戦が終わったのを境に世界情勢はガラリと変わり、アメリカの政治学者サミュエル・ハンティントンが『文明の衝突』の中で予言した民族と宗教の対立の時代、テロルとの戦いの世紀を迎えた。中国やインドなどブリックスの台頭が著しく、日本を取り巻く国際環境も厳しくなって皆さんは今、歴史の大きな変わり目に立っ



ていると言っている」

町田会長は言葉を継いだ。

「経営学者ドラッカーはかつて『これからの企業の平均寿命は大企業も含め30年だ』と言っている。つまり、これからは一つの職場で一生を終えるという生き方は難しくなる。一人ひとりが本人の能力と適性にあつた多様な職業選択、多様な人生を模索することが大切だ。皆さんはこれからしばらく自分探しの旅に出ることになると思うが、是非同窓会に関心を寄せていただき、タテの繋がり強い同窓会の実現にご協力をお願いしたい」。町田会長はこのように述べ、若い会員たちのために同窓会の豊富な人脈を積極的に生かしていく考えを強調した。

「経営学者ドラッカーはかつて『これからの企業の平均寿命は大企業も含め30年だ』と言っている。つまり、これからは一つの職場で一生を終えるという生き方は難しくなる。一人ひとりが本人の能力と適性にあつた多様な職業選択、多様な人生を模索することが大切だ。皆さんはこれからしばらく自分探しの旅に出ることになると思うが、是非同窓会に関心を寄せていただき、タテの繋がり強い同窓会の実現にご協力をお願いしたい」。町田会長はこのように述べ、若い会員たちのために同窓会の豊富な人脈を積極的に生かしていく考えを強調した。

続いて若者の積極的な社会参加による楽しい町作りを目指す「若者会議」の中心メンバー中嶋結也氏（平成14卒）が新入会員を激励するメッセージを述べた（発言要旨は下段）。

新入会員への記念品は校歌

の一節「おのれを修めて世のためつくす」を印刷したUSBスティック。高島清子副会長から代表の豊島菜々子さん（前生徒会副会長）に手渡された。豊島さんはお礼の挨拶の中で、「各界で活躍する人材を輩出している秋田高校同窓会の一員になれたことを一同、大変うれしく誇りに思います。自主自律の精神の下、3年間学んできたことをこれから様々な状況で生かしていけるよう人生の諸先輩から指導を受けながら頑張ってください」と述べ、母校を巣立ち新たな目標に漕ぎ出す喜びと決意をにじませた。最後に吹奏楽部の演奏に合わせて校友会歌を全員で声高らかに歌い入会式を閉じた。

## 激励の言葉要旨

## 中嶋結也（平成14卒）

高校時代は柔道部で部活漬けの毎日だった。大学で政治経済の勉強をし、現在は県庁の職員として働いているが、仕事とは別に「若者会議」という活動をしている。

若者会議とは、地域に住む仕事も年代もばらばらの若者が、地元を楽しくするため何が出来たかを話し合い行動する集まりだ。県内には10ちよつとの若者会議があり、例えば横手の若者会議ではつらい雪寄せをスポーツとして楽しんでしまえ！とスポーツ雪寄せ世界大会を行った。この活動を通じて知った地域や自分自身の人生を面白くするコツは三つあると思う。一つ目は有言不実行のスス。有言不実行とは約束したことを平気で破るという意味ではなく、出来ないかもしれないけれど、やってみたくないとを声に出すということだ。声に出すことで自分一人では出来ないかもしれないが、それを聞いた人ができるかもしれないし、出来る人を紹介してくれるかもしれない。二つ目はこんなことをしたいと話されたとき相手を「ど

うせ無理だよ」と否定せず、「だったらこうしてみれば？」とアドバイスしてあげることだ。植松電機の植松専務によると、「どうせ無理」と言うのは、それをやったことがない人。やったことがない人がやるうとしていて人に對して出来ない理由を長々と説明するのだそうだ。

三つ目は行動するならば若いうちに。若いうちだからこそ話を聞いてくれ、地域の人もその活動を応援してくれるし若いうちなら失敗しても致命傷にはならないからだ。みんなが温かく見守ってくれて、失敗も許されるうちにどんどんチャレンジしてほしい。自分の住む地域や自分の人生が変わると思う。

最後に僕が今やってみたくことは、若い人たちが気軽に立ち寄って夢を語り合うシェアハウスみたいなことをやりたいなと思っている。皆さんの中から「だったらこうしてみれば？」というアドバイスをいただけるとうれしい。

